

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびりすサポートみなみ			
○保護者評価実施期間	R7年10月20日		～	令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	R7年10月20日		～	令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用いただいているお子様とご家族の皆様が 通園を楽しみにしていただくこと	はびりすでは、お子様が楽しみに通えることと、毎日の生活共にしておられるご家族の皆様が成長を実感できることを重要視しております。楽しく通う中で、その関わりに専門性が担保され、お子様の発達に最適な関わりとなることで発達を促しております。	お子様が楽しく通っていただいている状況をアンケートで拝見し、大変嬉しく感じております。今後も、お子様にとっての「遊び」が発達を促す最適な関わりとなるように、遊びに工夫を凝らし関わっていきたくと考えております。
2	お子様の発達段階に沿った支援内容の提供	はびりすでは、発達のアセスメントを重視しております。標準化された検査を通して発達を評価し、目の前でみたお子様のご様子と照らし合わせることで、できるだけ主観的でない評価を心がけています。お子様の発達をまずはしっかりと押さえてその上で発達を促す作戦を立てて実行していくことを重視しています。	発達段階に沿った関わり方をお伝えする際に、口頭だけでなく視覚的にもわかりやすいような資料作りなどに取り組んでいきたいと考えております。
3	専門性の高い個別療育を通じた発達支援	はびりすでは、言語聴覚士・臨床心理士・作業療法士がそれぞれの専門性に基づき支援を行っております。生活に根ざした支援となるように、社内での勉強会も頻繁に設けています。経験豊富な職員に相談できる機会も積極的に設けるようにしています。	それぞれの職員が自分の得意分野を明確にすることで臨床がより深まっていくと考えております。一人一人に合わせた関わりができるように、関わり方の引き出しを増やしていきたいと考えております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場の整備や事業所内の手すり等の設置対策について	課題 1) トイレの汚れ →便座上部の機械接続部分のオイルが漏れが原因 課題 2) 手すり工事 →工期の遅れ（業者の再選定） 課題 3) 駐車場整備 →住宅街の為、増設が困難。入れ替わり時間が課題	課題 1 と 2) トイレの汚れおよび手すり工事 →現在工事業者の選定を行っておりまして、年度内には対策を講じる予定です。 課題 3) 駐車場整備 →療育時間が伸びた際に入れ替わりがより困難になりやすい為、療育終了時間での切り替えを工夫することや駐車スペースの固定化などの対策を講じる予定です。
2	ペアトレの実施や保護者会の実施などはびりすで実施している内容の周知	課題 4) 集団での開催が困難 →親子通園での療育となる為、保護者に追加で来所していただき事業所内で勉強会を開催することが難しいとの声がある。ペアトレなどはオンラインでの開催は性質上向かない為、個性が高い課題は個別療育での対応が必要。 課題 5) 保護者会・交流会の実施 →課題 1 と同様の課題があるが、今年度年長児の実施ができた。周知には工夫が必要。	課題 4 と 5) →オンラインで実施可能な範囲の検討を行います。 →実施内容の周知方法について、会報の発行や掲示板の活用などを通して、保護者の皆様に届きやすい情報提供を行なって参ります。
3	地域との交流	課題 6) 地域交流 →はびりすに通う利用者様の多くは、地域の保育所や幼稚園と併用してご利用をいただいているご状況から、地域の子供達との交流を確保できているものと考え、保護者様より日頃の園での状況をお伺いすることで交流を推進していけるものだと考えておりました。	課題 6) 地域交流として、①保育所等訪問支援を積極的に行うこと、②地域の自治会への参加、③発達相談の実施などと捉えておりました。これまでイベントの実施は在園児のみとしておりましたが、今後は交流の機会を拡大できるように社内で検討していきます。